



日本美容皮膚科学会
Japanese Society of Aesthetic Dermatology

第42回 日本美容皮膚科学会総会・学術大会

The 42nd Annual Meeting of the Japanese Society of Aesthetic Dermatology

SWEETS SEMINAR

新たなリジュビネーション治療の幕開け

～新波長レーザーと炭酸ガス+薬剤注入器による最新治療法～

5

日 時: 2024年8月31日(土)15:20~16:20

会 場: 名古屋国際会議場 2号館2階【第7会場】会議室224

〒456-0036 愛知県名古屋市熱田区熱田西町1-1

TEL: 052-683-7711



座長

ビスポーククリニック 理事長 室 孝明 先生



池袋駅前のだ皮膚科 院長 野田 真史 先生

炭酸ガスマイクロサブシジョンと
ドラッグデリバリーを同時に行う新規治療法の提案



まりもクリニック 院長 牧野 良彦 先生

675nmの新波長レーザーによる
Total Rejuvenation治療について

※本セミナーには未承認品の内容を含みます。

共催 第42回 日本美容皮膚科学会総会・学術大会

メトラス株式会社





日本美容皮膚科学会
Japanese Society of Aesthetic Dermatology

第42回 日本美容皮膚科学会総会・学術大会

The 42nd Annual Meeting of the Japanese Society of Aesthetic Dermatology



池袋駅前のだ皮膚科 院長 野田 真史 先生

炭酸ガスマイクロサブシジョンと ドラッグデリバリーを同時に行う新規治療法の提案

抄録 痤瘡による萎縮性瘢痕に対してはフラクショナルレーザー、マイクロニードル、サブシジョン、高濃度TCAピーリングとタイプや部位、範囲によって様々な治療の選択肢があり、適切に組み合わせることで既存治療でもある一定の効果を望むことができる。その一方で、治療効果を高くしようとするリスクやダウンタイムも上がるというジレンマを解決できない側面もあった。CO₂ガスを皮膚表面から注入するTrifill PRO (MCURE社:韓国)という機器を用いることで、針を用いたサブシジョンよりも表層をターゲットに微細な空間を作り、かつそこにポリ乳酸のpoly-D,L-lactic acid (PDLA)や、アミノ酸・非架橋ヒアルロン酸製剤などコラーゲン増生を促進する薬剤を均一に注入することが可能になる。皮膚表層のガスで剥離された組織が再生する過程と、薬剤の効果の2つで組織再生の相乗効果が生まれ、リスク・ダウンタイムの少ない萎縮性瘢痕の治療が可能となる。一方で、CO₂ガスそれ自体は諸家が報告しているようにBohr効果としてコラーゲン増生や血流改善が認められているため、その効果も期待できる。Trifill PROは単独だけではなく、針によるサブシジョンなど他の治療と併用することでさらに萎縮性瘢痕に対する治療効果を上げることができる。また、水光注射のようにリジュビネーションを目的とした注入機器としても当院では活用している。本講演では、萎縮性瘢痕以外への適応も含め、Trifill PROの適応と効果、使用方法について解説する。



まりもクリニック 院長 牧野 良彦 先生

675nmの新波長レーザーによる Total Rejuvenation治療について

抄録 世界で初めてコラーゲンをChromophoreとし唯一675nmの波長を使用した赤色フラクショナルレーザー、Red Touch PRO (DEKA社:イタリア)を使用する機会を得たので報告する。従来のフラクショナルレーザーは、水に反応させて高い熱エネルギーを生み出すことから効果の実感が高いものの、赤み、痛み等のダウンタイムにより、日本ではリジュビネーション治療として普及しなかったという経緯がある。光治療は、手軽なりジュビネーションとして広く普及しているが、シミ治療として限界があり、たるみ治療として効果が乏しいのも事実である。そこで、当院にてRed Touch PRO による治療を3回実施したところ、たるみ(引き締め、ハリ)、小じわ、シミ・くすみ等の改善を確認した一方、施術時の疼痛は最小であった。施術直後は熱によるタイトニングで効果の実感はあるが、基本的にはコラーゲン増生が始まる2週間後よりさらに実感できる。月1回ペースで3回の施術を1クールとし、回数を重ねることでその効果を最大限に発揮することが可能である。

波長がメラニンにも作用することから、Red Touch PROはリジュビネーション治療において、日本のニーズにあった新たなレーザーとなる可能性を秘め、また海外では、肝斑、赤み、瘢痕、口唇増大、AGAなど多岐に使われるのみならず、Prejuvenation(老化予防)という概念での治療もスタートしている。

本講演ではRed Touch PROの特徴、使用方法、プロトコル、効果について報告する。

※本セミナーには未承認品の内容を含みます。